

1 学び・育ち

1 確かな学び

- プログラミング学習教材を全小学校に貸し出し、教材を動かす体験をするなど、取組の充実を図った。
- 主体的・協働的な探究活動の実践を促進する「とうきょうすくわくプログラム」を区立幼稚園全園で実施した。
- ICT 機器の効果的な活用を目指し、ICT 教育推進校を指定して一人一台端末の活用充実を図っていく。

2 豊かな心

- 「Action24」をテーマに、全校が学校いじめ防止基本方針を作成し、いじめ防止に努めた。
- 全校で児童・生徒が主体となっていじめ防止に取り組む活動を実施した。
- 「江東区こどもの権利に関する条例」が施行されたことを受け、より子どもたちの人権を大切にしたい取組を充実させていく。



「江東区観光キャラクターコトミちゃん」

3 健やかな体

- 休日部活動の地域移行に向け、「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」の素案をとりまとめ、また、地域移行に向けた試行事業を実施した。
- 体力スタンダード指導資料を活用した授業改善及び「わくわくタイム」「ウォームアップタイム」の充実により、子どもたちの体力向上を図っていく。

3 環境

6 施設の整備・充実

- 第二大島小学校の改築、明治小学校の長寿命化改修が竣工した。
- 第六砂町小学校について、改築ワークショップを開催し、配置計画などの基本設計が完成した。
- 「学校施設の将来ビジョン」を策定し、学校施設に求められる機能や空間のありかたについて定めた。
- 一人一台端末更新時の使用性の向上や校内ネットワークの回線増強により、ICT 環境の充実を図っていく。



7 安全安心・居場所づくり

- 保留児童の解消を図るため、3 クラブについて活動スペースを確保し、令和7年度の入会可能数を増やした。
- 「江東区地域防災計画」の改定を踏まえ、「江東区学校防災マニュアル」について改定を行った。
- 「江東区通学路交通安全対策連絡会」において、定期的に通学路の交通安全点検を行うことにより、危険個所の抽出及び対策の検討・実施・改善等を行った。

2 自分らしさ

4 個に応じた教育

- 特別支援教室の拠点校増設に加え、各学校、幼稚園に学習支援員を配置し、特別な支援が必要な園児・児童・生徒への支援を実施した。
- 日本語指導が必要なこどもの母語による指導が可能な講師の派遣により支援体制の充実を図った。
- 特別支援教育に関する教員研修を充実させるとともに、各学校へ特別支援教育アドバイザーを派遣するなどして、教員の資質・能力の向上を図っていく。



5 丁寧な相談

- 区立学校にスクールソーシャルワーカーが定期的に巡回訪問し、問題の早期発見、関係機関との連携を図った。
- 「KOTO こどもかがやきプラン」(不登校総合対策【第3次】)に基づき、「校内別室指導支援員」「不登校巡回教員」を配置し、校内における教育支援センター機能の向上を図った。
- 不登校の要因となり得る児童・生徒の悩みや保護者からの相談に対応するため、全ての区立幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校にスクールカウンセラーを配置した。
- ブリッジスクールにて、オンライン上での学習や、体験的な学びの充実を目指していく。

4 つながり

8 地域・家庭

- スクールソーシャルワーカーについて、要保護児童対策地域協議会を活用し、児童相談所やこども家庭支援センター等、関係機関と連携を図りながら支援を行った。



9 学校・教員

- 教員の部活動指導に係る時間等の負担軽減、持続可能な部活動運営に向けて、顧問としての役割を担う、部活動指導員を20校30部活動に配置した。
- 全小学校にエデュケーション・アシスタントの配置及び全中学校に採点システムの導入を行った。

10 図書館・大学・企業等

- Challenge Wednesday のサポートとして、各図書館で調べる学習を相談できる取り組みを実施した。
- 区内企業と連携した出前授業や中学校・義務教育学校(後期課程)における職場体験を全校で実施した。

委員長講評

1 主体的な学びの定着と豊かな心の育成

- 主体的・対話的で深い学びの充実を図る授業が定着しつつあり、定着度調査の結果の向上にもつながっている。
- 1人1台の端末の活用により、児童・生徒一人一人が意見を述べたり、画面上での共同作業を行ったりするなど、様々な視点から授業改善が推進されている。
- 「みんな、かがやく」を全ての学校・園で共通意識としてもち、人権教育、道徳教育、自己肯定感を高める教育、いじめ防止などに取り組むことで、自他を大切にする心の育成が図られている。

2 多様な支援でこどものSOSに応える- Action24 の成果と今後の展望

- Action24として、教育相談システムの充実を図り、子どもたちのSOSを見逃さず、早期対応を目指した取組がなされている。
- SNSを活用した教育相談「5to9 マンデーなんでもチャット相談」は、親しみやすいキャッチコピーと相談しやすい環境づくりにより、相談者の心理的負担の軽減にもつながっている。
- ブリッジスクールや校内別室における支援・指導体制の整備と充実により、教育の機会確保が着実に推進されている。
- 「KOTO こどもかがやきプラン」に基づき、魅力ある学校づくりとともに、不登校の未然防止、総合的な対策がさらに進められることを期待する。

3 地域とともに進める施策の推進

- 学習指導要領にも「地域に開かれた教育課程」が示されており、江東区ではすでに全校に地域学校協働本部が設置され、学校と地域・家庭の緊密な連携・協働体制が築かれている。
- 全校がコミュニティ・スクールとなることを目指し、さらに学校と地域・家庭との連携・協働が一層推進されることが期待される。

4 教育の質を高めるICT

- 児童・生徒の情報活用能力の向上、新たな教育方法の実現、そして学校運営の効率化という3つの視点から効果的に推進されている。
- ICT化を「目的」ではなく、「方法」として、教育の質を高める手段として確立し、4つのテーマの各施策推進の中に確実に組み込まれていることである。これは、これまでICT化を重視してきた成果であり、今後のさらなる展開も大いに期待される。